

様式 6

令和 6 年度 【施設名：岡崎市花園高齢者生きがいセンター】 事業報告書

公の施設名称	岡崎市花園高齢者生きがいセンター
施設の設置目的、役割	市内北部地域を中心とした高齢者に、就業機会を提供し働くことにより社会参加を促進し、以て高齢者福祉の向上と健康維持と生きがいづくりに貢献する。
施設の所在地	岡崎市 恵田町 字 東三山 1 0 8 番地 1 1
施設規模	敷地面積：3, 3 5 9 m ² 建物面積：6 2 1 m ²
指定管理者	名 称： 公益社団法人岡崎市シルバー人材センター 所在地： 岡崎市 美合町 字 五本松 6 8 番地 1 2 代表者： 会 長 鈴 木 保 光
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 3 1 日まで

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

事業実績

	受注件数 (件)	就業人員 (人)		契約金額 (円)			
		実人員	延日人員	配分金	事務費	材料費等	計
公共	0	112	0	0	0	0	0
民間事業所	31		12, 370	63, 756, 218	7, 757, 143	1, 657, 800	73, 171, 161
一般家庭	28		155	909, 582	123, 555	150, 485	1, 183, 622
計	59		12, 525	64, 665, 800	7, 880, 698	1, 808, 285	74, 354, 783

(2) 事業実施に対する自己評価

前年度はコロナウイルス感染症の影響から大きく立ち直りを見せていたが、今年度も回復傾向にあり、近年の最高益であった令和3年度実績とほぼ同等水準の契約高となった。

契約高で大きなウェイトを占める特殊ビニール加工についても、一時期大きく落ち込んでいたが、今年度は大幅に回復している。

作業時間について、昨年度は受注量の低下により半日作業が続く時期があったが、今年度は殆どの日で終日作業を行うことが出来た。

発注先企業の業績は去年に続き回復傾向であり、今後の更なる需要増を図るべく品質向上のため、納品の仕方などを検討し、納品時の品質を高める努力を行った結果、搬送時の荷崩れなどもなく搬送が出来るようになった。

ただし、世界的な貿易網の混乱や物価高騰により発注先企業の動向も不透明であり、次年度の受注量についても当面不安定な状態が続くと思われる。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

会員登録状況

	令和6年度末登録会員数（人）				就業人員 （人）
	64歳以下	65～69歳	70歳以上	計	
男	0	6	57	63	63
女	0	3	35	38	38
計	0	9	92	101	101

(2) 利用状況に対する自己評価

就業率については、花園高齢者生きがいセンター所属会員にはすべて就業実績があり、就業率は100%となった。ただし、会員数としては前年度末より若干減少となっている。

年齢構成については、前年度と比較してほぼ変動はない。平均年齢は76.4歳に達しており、依然として高齢化が進行しているのが現状である。若手に入会して欲しいところではあるが社会全体で就労意欲のある人材をなるべく手放さない方向に進んでいるため、入会段階で既に高齢な方が増えているのが実情である。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額（円）
収 入	委託料収入	指定管理委託料	16,543,442
	利用料金収入	配分金	64,665,800
	事業収入	事務費収入等	7,880,698
	その他収入	材料費等	1,808,285
収入 計			90,898,225
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、事務費、手数料、修繕費、清掃等委託料、保険料等、建築物等定期点検費	16,812,868
	（うち修繕費）	※精算項目	594,781
	事業費	直接事業に係る経費	64,665,800
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	6,419,557
支出 計			90,898,225
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

事業実績は、前年より若干の増加となり、概ねコロナウイルス感染症の流行による低迷以前の段階まで回復することが出来た。

工業団地からの受注については、高年齢者雇用安定法の改正に伴う各企業の定年延長や70歳までの就業機会確保努力義務化の影響もあり、シルバー人材センターへの発注量や入会希望者数の減少もあったが、作業場内作業の取引実績は回復することができた。

支出については、インボイス制度施行による消費税租税額の増加や物価高騰の影響で経費は以前より増加しているが、実績増による収入増で収まる範囲に留まっており、全体の収支は保たれている。

4 アンケート結果

(1) 実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和 7 年 3 月	5 6	会員配布

(2) アンケート結果概要

- ・前年同様、目立った不満の声は無し。

(3) アンケート結果に対する自己評価

アンケート提出数が例年より減少しているが、アンケートと前後して令和7年度末をもってシルバー人材センターが同施設における契約を終了する予定であることを周知したことに起因したと思われる。

報酬については増額を望む声が多かったが、勤務時間については現状維持の声が多かった。

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

現在でも時おり発生する新型コロナウイルス感染症の発症やインフルエンザの流行への対応策として、指消毒や除菌の徹底等を継続しており、安心して就業できる環境維持を行った。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

花園高齢者生きがいセンターで働く会員の平均年齢は岡崎市シルバー人材センター会員全体の平均から比べると0.4歳程度上になるが、その分作業所内作業の仕事に慣れたベテランが多く、皆がリズムよく仕事を進めることが出来た。

年度の前半では一部で半日作業の日もあったが、後半からは仕事の確保状況も安定し、ある程度一定の仕事量で作業が出来たことを会員も喜んでいる。

周辺の花園工業団地から発注されている仕事に従事する会員においては、人手不足で年々高齢化が進み、個々の仕事のボリュームが大きくなってきている。発注者の要望に応えることが信用及び仕事の継続になるため、会員には理解をしてもらい作業を行って頂いている。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

一般家庭からの苦情は無し。

作業所内作業では一時期機械の状態が安定せず製品に不良が発生したこともあったが、機械点検などの強化を図り不良ゼロを目指した。草刈り作業においても飛び石事故が発生しないよう、会員に安全就業指導を行った。